

本市の主な地域特性

1 立地特性

- ・瀬戸内海沿岸部の中央，広島県内南部のほぼ中央，東は三原市，北と西は東広島市，南は大崎上島町や愛媛県今治市と接している。
- ・南北を二級河川「賀茂川」が流れ，その周辺から沿岸部の平地部に市街地が形成されている。平地部の周囲は，朝日山を中心に三方を山に囲まれ，その中を幾筋もの小河川が流れ，源流域の多くが市内にある。
- ・瀬戸内海には，大久野島をはじめとした島々が分布し，多島美の景観が広がり，豊かな自然と温暖な気候に恵まれた住環境が形成されている。
- ・交通は，内陸部の東西方向に国道 2 号，南北方向に国道 4 3 2 号，沿岸部に国道 1 8 5 号と J R 呉線。地方港湾竹原港，忠海港があり，島しょ部と航路で結ばれている。北側には山陽自動車道河内インターチェンジ及び広島空港，高速交通体系にも恵まれ，空・陸・海の交通利便性の高い地域となっている。

2 歴史環境

- ・先史時代から人々が住み，賀茂川流域では古墳をはじめとした遺跡が存在している。
- ・中世，賀茂川流域一帯は京都の下賀茂社の荘園であり，鎌倉時代には，小早川氏が治める。小早川家の 1 4 代当主が小早川隆景である。
- ・近世，塩田開発，製塩業とともにまちが大きく発展し，現在の町並み保存地区を形成した。
- ・経済的発展は，教育文化へとつながり，頼春水をはじめ多くの学者・文化人を輩出した。竹原出身の大成した学者によって竹原は“文教の地”として広く周知された。後に池田勇人（第 5 8 ～ 6 0 代内閣総理大臣）や竹鶴政孝（ジャパニーズウイスキーの父）の輩出へとつながった。
- ・近代，製塩業は厳しい環境になり，徐々に塩田の面積は縮小していき，昭和 3 5 年に全面廃止された。3 0 0 年来の基幹産業から非鉄金属製造業や火力発電所など他の産業へ転換した。
- ・行政，明治～昭和の合併により竹原市が誕生した。